



大崎市長
伊藤 康志

宝の都(くに)・大崎 東北新時代への挑戦

新しい年の初めの初春の
今日降る雪のいやしけ吉事

万葉集 大伴家持

あけましておめでとうござ
います。
皆さまには、ご家族おそろ
いで、お健やかに初春をお迎
えのことと、心からお慶び申し
上げます。

今年、新天皇即位に伴い、
新しい元号の時代がはじまり
ます。

元号は、中国が発祥で、吉
兆となる漢字の組み合わせに
よって年を表すようになった
ことに始まり、日本も中国文
化を取り入れたものから始ま
りました。

生涯にわたるスポーツ・レ
クリエーションの振興につぎ
ましては、三本木パークゴルフ
場整備事業を推進し、幅広い
世代の交流とスポーツに親し
める環境の整備に努めます。

初めての元号は、飛鳥時代
の「大化」から始まり、我が国の
歴史を脈々とつないできまし
た。
現在の元号「平成」は、「内平
らかに、天と成る」との願いが
込められています。この願いを
新たな時代へとつなぎ、穏やか
で心豊かに、さらなる発展の
時代となることを心より願ひ、
新たな元号を迎えたいと思ひ
ます。

世界から評価された本市
の宝に磨きをかけ、交流人口
の拡大とともに、産業のさら
なる発展に取り組んでいきま
す。
また、本市の図書館「来楽里

安全・安心で交流が 盛んなまちづくり

頻発する自然災害や防災対
策につきましては、大崎広域
消防本部の完成により、連携
を強化し、防災、減災対策の充
実に取り組んでいきます。

河川を含めた雨水対策も
万全を期し、排水路改良整備
事業などに取り組んでいきま
す。

円滑な道路環境の整備のた
め、道路網ならびに橋梁など
の計画的な整備を推進してい
きます。

地域資源を生かした交流の
推進については、姉妹都市締
結20周年を迎える宇和島市と
の記念事業を、市民の皆さま
と共に推進していきます。

地域の個性を生かし 豊かな心をはぐくむ まちづくり

未来を担う子どもたちの教
育環境の充実については、夏の
猛暑に対応するため、幼稚園
ならびに小中学校のエアコン
の整備を進めていきます。

また、安全、安心な給食の提
供と地産地消と食育の推進に
取り組み、(仮称)大崎東学校給
食センター建設を推進します。

活力あふれる産業の まちづくり

誇りある農業の振興につぎ
ましては、農業基盤整備事業
などを整備するとともに、全
国的に高い評価を受けた「さ
さ結」の強みを生かし、米の販
売促進と消費拡大に努めてい
きます。

また、ブランド力の強化に
向けて、こだわり農産物PR
推進事業を推進し、農産物の
6次産業化に努めていきま
す。

世界農業遺産アクションプ
ランについては、地域資源を生
かし、誇りある地域づくりの
具体的な仕組みづくりを着実
に進め、自然と共生する農業
の推進を目指していきます。
訪れてみたくなる観光の振
興につぎましては、観光振興
ビジョンに基づき、インパウン
ドの強化、シティープロモー
ション強化に努め、交流人口の
拡大に努めていきます。
魅力ある地域資源の活用と

地域で支えあい 健康で元気な まちづくり

生涯を通じた健康づくりの
推進に向け、いきいき百歳体
操の普及活動を推進します。
また、子どもから高齢者ま
で健康で生きがいのある生活
が送れるよう、第2次大崎市
健康増進計画ならびに第2次
大崎市母子保健計画を推進し
ていきます。

環境の変化に対応した子育
て支援の充実につきましては、
子育て支援拠点施設建設事業
を推進していきます。

充実した地域医療体制の整
備につきましては、新大崎市
民病院改革プランに基づき、
岩出山分院のリハビリテー
ション施設の整備、ならびに鳴
子温泉分院の新病院建設の整
備を進めていきます。

自然と共生し環境に 配慮したまちづくり

豊かな自然環境の保全に向
けた取り組みを行い、身近に
触れ合える憩の場の整備につ

きましては、七日町再開発事
業において、商業、公共、観光
機能が一体的に連携し、にぎわ
い拠点の形成に向け、市役所
周辺整備事業ならびに千手寺
町周辺整備事業、(仮称)道の
駅おおさき整備事業と併せて
都市機能の充実に向けていき
ます。

快適な生活環境の保全整
備につきましては、鹿島台地
域の市営住宅整備事業を推進
し、良好な住環境の整備に努
めていきます。

また、農林業系廃棄物の試
験焼却については、その実施
結果を公表し、安全で適正な
管理を実施し、早期の解決に
全力で取り組んでいきます。

今年の干支「亥(い)」は、古来
より作物の神、山の神として
神聖な動物として、時には健
康の象徴として大切にされて
きました。

2019年、新しい元号の
時代に期待するとともに、さ
らなる大崎耕土の豊穰を願ひ
市政にまい進していきます。
市民皆さまにおかれまし
ても、本年がより良い年であ
りますよう心から祈念申し上
げ、新年のあいさつとします。

ホール」は来館者が50万人を
超え、多くの皆さまに愛され
る図書館となりました。今後
も学びと交流の拠点として推
進していきます。

中心市街地復興まちづくり
計画では、東北地方における
広域交通の要衝で、県北部の
発展をけん引する本市の中核
として、中心市街地の整備を
位置づけていきます。

中心市街地の将来像は、広
域防災拠点、緒絶川周辺の環
境形成、七日町周辺の地区形
成といった「新たな拠点づく
り」およびこれらの拠点をつな
ぐ「回遊路づくり」を展開し、
その整備に努めていきます。

市民が主役 協働のまちづくり

共にはぐくむ協働のまちづ
くりを基本とし、地域自治組
織の躍進を目指し取り組んで
いきます。

市民の生活を支える行財政
改革の推進を図り、効率的で
効果的な行政運営を進めま
す。

また、市民皆さまの理解を
得ながら、市役所本庁舎、鳴子
総合支所、田尻総合支所庁舎
建設代替事業を推進してい
きます。